

# 「日本三大七夕まつり」の開催地、愛知県 一宮市。 IT活用で、水道業務の効率化と市民サービス向上を実現。



## 導入背景

- 市町村合併に伴うシステム統合  
(一宮市、尾西市、木曽川町の2市1町合併)
- 合併を機とした最新水道料金管理システムの導入・運用  
(従来の汎用機システムからオープン化へ)

## 導入効果

- 「AQUASTAFF」によるスムーズなシステム統合  
(一つのシステムで異なる複数の料金体系での運用が可能)
- 市民からの問い合わせ対応の迅速化と多様なデータ活用  
(多様な検索機能、Excelに出力し業務分析)
- コストダウン(約10%削減)とペーパーレス  
(Webシステム化、既存パソコン活用、帳票プレビュー)

全国規模で加速する市町村合併。水道事業者においては、市町村毎に異なる水道料金体系など、合併時の業務統合にどう対応していくかが大きな課題となっています。一宮市ではこの課題解決に向けて、「長年にわたる水道業務ノウハウをもち、システム運用や納付書などの帳票出力作業も任せられる」(一宮市 長沢洋司氏)富士通FIPの提案を採用し、合併を機に、Web型水道料金管理システム「AQUASTAFF」を導入しました。AQUASTAFFの合併対応機能により、2市1町のそれぞれの旧料金体系を継承しながら、料金管理システムを統合しました。また、「いかに利用者にとって簡単な操作で、市民からの問い合わせ対応や業務を効率化できるかを最優先しました」(長沢氏)と語るように、このシステムは一宮市の水道業務ノウハウを取り入れながら、使い勝手を追求し、市民からのよくある問い合わせに応えるために

必要な情報を一画面で呼び出せる機能などにより、対応スピードが格段に向上しました。料金収納情報など業務分析・集計に必要なデータは簡単にExcelに出力でき、業務全般の効率化にもつながっています。さらに、Webシステム化によりトータルコストが月額約10%ダウンするとともに、帳票のプレビュー機能により大幅なペーパーレスも実現しました。しかも、既存のパソコンをそのまま使え、追加の設備投資は不要でした。「民間的な経営手法も取り入れながら、より良質な市民サービスを提供していきたいですね。」(一宮市 鶴見 幸一氏)この期待に応えるためにも、「使い易さをより追求していくとともに、来年4月予定の料金統合(料金体系の一本化)プロジェクトに向けて気を引き締めて取り組んでまいります。」(富士通FIP 古池 真澄)これからも、より一層の一宮市の水道業務の効率化とサービスの向上を富士通FIPがITでサポートします。



一宮市 上下水道部  
課長 鶴見 幸一氏



一宮市 上下水道部  
主事 長沢 洋司氏



富士通エフ・アイ・ピー株式会社  
中部支社 システム部 プロジェクト課長 古池 真澄

### FIP中部アウトソーシングセンター

**AQUASTAFF**

- パッケージ提供
- サーバ運用
- プリンティングサービス
  - 24時間365日運用
  - ハイレベルなセキュリティ
  - 万全な安全対策設備



### 一宮市上下水道部

水道料金管理業務

使用者管理	検針管理
水検-メータ管理	請求管理
調定管理	滞納管理
収納管理	統計管理

### 愛知県 一宮市 <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

平成17年4月1日、一宮市・尾西市・木曽川町の合併により、人口約37万人の新生「一宮市」が誕生。古くから繊維産業を基盤として栄えてきたこの地の代表的なイベントが、「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」です。「日本三大七夕まつり」の一つとして今年で51回を迎え、毎年130万人を超える人出でにぎわいます。また、同市では近年、地場産地「尾州」のブランド力強化を進めると共に企業誘致の推進も図り、産業の複合化が図られています。



◎本カタログに記載の内容は2006年7月現在のものです。内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。